

北海道地区 現地研修会

## 北海道・いきものを育む有機稲作 2年目の実践と可能性

- 主催： NPO 法人民間稲作研究所、創地農業 21、  
NPO 法人当別エコロジカルコミュニティー
- 協力： 田んぼの生きもの調査プロジェクト
- 日時： 平成19年6月23日（土） 13:00～24日（日） 15:00
- 研修会場： 宮島沼水鳥・湿地センター（美唄市西美唄町大曲3区）TEL 0126-66-5066
- 宿泊場所： 月形温泉 はな工房（月形町北農場 皆楽公園内）TEL 0126-37-2188  
（JR 札沼線 石狩月形駅から徒歩約 15 分）
- 参加費： 懇親会 4,000円 宿泊費 6,000円 資料代 3,000円
- プログラム（予定）：

### 第1日目（6/23）

- 午後1:30 1 冬期湛水・早期湛水水田の現場を見る。  
～5:30 — イネの生育診断と生き物調査 —  
1:30 竹田農場集合 4:30 若槻農場見学
- 6:00 会場到着（宮島沼水鳥・湿地センター）
- 6:30 現地研修会 開会あいさつ  
1. 北海道 有機稲作 2年目の取組みとその成果
- 7:30 夕食・懇親会（月形温泉はな工房へ移動）  
朝まで話そう北海道

### 第2日目（6/24）

2. 報告と討論（9:00～12:00）
- 9:00 北海道ふゆみずたんぼプロジェクト 2年目の取組 橋部佳紀
- 9:15 北海道 有機稲作の可能性と課題 稲葉光國
- 10:55 生き物調査でみえてきたもの 岩渕成紀
- 11:45 討論・意見交換
- 12:00 昼食
3. シンポジウム いきものブランド米—有機栽培米の流通をめぐって
- コーディネータ 稲葉光國・岩渕成紀
- パネラー（それぞれ交渉中）
- 流通業者 今井登志樹（アイフォームジャパン・ビオマーケット）
- 消費者 菊池玲奈
- 生産者 土井・竹田・若槻・黄倉
- 外食産業 アレフ ほか
4. 閉会あいさつ
- 申込締切：6月16日（土）18:00

